色覚の多様性を最新研究からひもとく、新時代の科学絵本！

講談社の動く図鑑 MOVE（ムーブ）の科学えほん

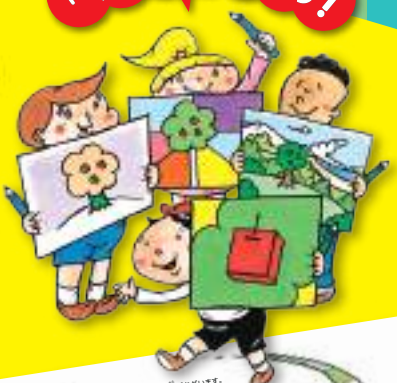
いろ・いろ

色覚と進化のひみつ

川端裕人・作　中垣ゆたか・絵

総ルビ・小学校低学年から

「ちがう」を知ろう！



著者コメント

21世紀になってから、色覚について、これまでの知識を塗り替える新たな研究報告が相次いでいます。なかでも社会的に受け止める必要が大きいのは、**従来「先天色覚異常」とされてきたものが、生物学的には「異常」ではなく、進化の過程で培われた「進化型（派生型）」だという知見**です。本書は、その新しい知見に基づいています。「正常と異常」に固執しがちなこれまでの社会通念をときほぐし、色の見え方の違いにかかわらず、互いに敬意を払えるきっかけになれば幸いです。

2024年3月14日（木）発売予定

わたしたちが感じるさまざまな色は、目と脳のはたらきによって頭の中にできるもので、人によって見え方は「いろいろ」です。たとえば、多くの人にとってはっきり違って見える「赤と緑」が、「近い色」に見える人たちがいます。この絵本では、わたしたちの色の見え方がどのようにできたのか、恐竜時代までさかのぼり、進化の歴史から振り返って見ていきます。一人一人の多様な色の見え方の違いを通して、生き物としてのヒトが獲得した「色覚」の進化の秘密を探っていきましょう！

全文試し読みはこちらから

AB判・オールカラー40P・上製本

川端裕人（かわばたひろと）

作家。1964年兵庫県明石市生まれ、千葉県千葉市育ち。東京大学教養学部卒。1995年にノンフィクション『クジラを捕って、考えた』、1998年に小説『夏のロケット』で作家活動を開始、幅広い分野で執筆活動を行う。ノンフィクションに『我々はなぜ我々だけなのか　アジアから消えた多様な「人類」たち』（講談社）、『「色のふしぎ」と不思議な社会――2020年代の「色覚」原論』（筑摩書房）など。小説に『銀河のワールドカップ』『エピデミック』（共に集英社）『ドードー鳥と孤独鳥』（国書刊行会）などがある。

KODANSHA

〒112-8001
東京都文京区音羽２丁目12番21号

この注文書でお近くの書店様へご注文ください。

注文書番号：T001666

書店ID	図書館様・学校様名	商品名	SEQ
番線印		『いろ・いろ 色覚と進化のひみつ』 本体価格1950円（税別）ISBN 978-4-06-5344897-7	001 注文数

【書店様】ご注文はWebまるこ（https://maruko.kodansha.co.jp）または 講談社受注センター（FAX）03-3943-3319へ